

令和2年4月1日

2019年度 自己点検・自己評価

学校法人湖南学園
早稲田外語専門学校
校長 井上 正

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらとも言えない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

| 1. 教育理念・目的等 | | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか | 5 |
| 2 | 1-2 学校の特色は何か | 5 |
| 3 | 1-3 学校の将来構想を抱いているか | 5 |
| 4 | 1-4 理念に基づく教育が行われているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>世界どこの国にいても人の役に立てる「グローバル人材」の育成が当校の使命と考える。そのため語学の習得のみならず、校外学習や文化体験を通して、その国（言語圏）への理解を深め、コミュニケーションが円滑に取れる人物を養成する。マスプロ教育を廃し、少人数教育に徹し、学生一人一人に寄り添った教育を実践している。今後、よりグローバル化する世界に有能な人材を送り出すべく独自の教育プログラムの開発、実践を今後も行っていく。</p> | | |

| 2. 学校運営 | | 評価 |
|---|---|----|
| 5 | 2-1 運営方針は定められているか | 5 |
| 6 | 2-2 事業計画は定められているか | 5 |
| 7 | 2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか | 5 |
| 8 | 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 5 |
| 9 | 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 5 |
| 10 | 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 5 |
| 11 | 2-7 危機管理体制は整備されているか | 4 |
| 12 | 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう 学校教育法に基づき整備されているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>毎年度当初に年間スケジュールに沿った事業計画、運営方針の策定を行っている。学校長統括の基、教務部門、事務部門の連携によりスピード感のある意思決定がなされている。各職員の処遇は就業規則に則り行われている。PC、クラウド、その他情報機器を活用して業務の効率化や情報共有、教職員間のコミュニケーションが図られている。理事会、評議委員会による客観的な学校運営の評価、指導が定期的になされている。危機管理については「危機対応マニュアル」を作成し、各教職員に周知するとともに、各部署に担当者を置き、学期ごとの会議においてマニュアルの再確認やその時々にあった更新が行われる。</p> <p>施設・設備に関しては定期的（年4回）に点検を行うが、不具合が発生した場合は、定期点検を待たず、すみやかに修繕・修復を行い、安全確保に努めている。</p> | | |

| 3. 教職員 | | 評価 |
|--|--------------------------------|----|
| 13 | 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか | 5 |
| 14 | 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 5 |
| 15 | 3-3 教職員評価を行っているか | 4 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>校長、事務長、学科担当課長を中心に教育理念、目的を共有し、半期に一度、校長、専任教職員、非常勤教員が出席する全体会議を実施。その際、校長から当校の教育理念の確認と学期の目標を発表している。</p> <p>全体会議の後、クラスごとに講師が集まり、チームティーチングで授業を運営する上で共有すべきクラスの目標、教材の進め方、進捗等、担当の専任講師を中心として共有する。</p> <p>教育の質の向上として、プロジェクター、PCなど情報機器類やソフトウェアを導入し、学生の理解度アップに努めている。</p> <p>非常勤教員に対しては当校への勤務開始時および定期的に専任教員が全授業の見学を行い、質の維持に努めている。新人教育については最低でも3か月、長くて1年間、専任講師が教案のチェックと授業見学、フィードバックを行っている。また、期末に学生アンケートと担当専任講師からの聞き取り調査を実施し、時間給を見直す際反映している。</p> <p>常勤の教職員に関しては学校長が設置者の定めた評価基準に沿って、各上長からの報告を基に職員の評価を行っている。</p> | | |

| 4. 教育活動 | | 評価 |
|--|--|----|
| 16 | 4-1 カリキュラムは体系的に編成させているか | 5 |
| 17 | 4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか | 5 |
| 18 | 4-3 目標に向け授業を行うことができる要件資質を備えた教員を確保しているか | 5 |
| 19 | 4-4 成績評価は適切に行われているか | 5 |
| 20 | 4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導體制は整っているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>学習到達レベル、レベルチェックテストの結果によって細かくクラスが分けられ、初級から上級まで体系的に学べるようクラス編成を行っている。専任講師が各レベルのカリキュラムの作成、監督、非常勤講師への指導を行っている。各レベルで各種検定試験の目標レベルを設定し、学生及び講師が明確な目標に向かい授業が運営できるような体制になっている。当校は前期、後期に分かれ、各期に2回定期試験を実施し、成績の結果を見てクラスの再編成を行っている。成績評価は四技能の他に、授業態度や提出物、出席率などを見て総合的に判断し、クラス担当教員が成績表を記入することになっている。また期の最後に学生と講師に自己評価、授業評価、講師評価、教材、カリキュラムの評価をアンケートによって調査し、その結果を次の期のコースデザインや講師への指導に反映させている。</p> <p>また、留学生に対しては受験者が多い日本留学試験と日本語能力試験の対策として、学校全体で模擬試験を実施し、各クラスの授業でも過去問題を使用するなど実践的に問題が解けるように指導をしている。</p> | | |

| 5. 学生支援 | | 評価 |
|---|---|----|
| 21 | 5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 22 | 5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 23 | 5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 5 |
| 24 | 5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 5 |
| 25 | 5-5 保護者と適切に連携しているか | 4 |
| 26 | 5-6 卒業生への支援体制はあるか | 4 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>総合英語学科は就職希望者に対し、「キャリアデザイン」という授業の中で就職の初歩から学び、各ホームルームクラス担当が所属クラス生徒の状況把握、就職指導担当教員と連携を取りながら個別指導を行っている。日本語学科は年に数回、校内で進学説明会、就職説明会を開催している。学生に対するサポートは各クラスの担任及び、副担任を専任講師が担い、留学生担当者と連携し、学生個々の生活状況、進学、就職、生活面での相談の機会を設け、情報を共有し把握している。</p> <p>両学科とも目安として半年に2回程度、個別面談を実施し、個人の進路、生活面のサポートを行っているが、専任講師（職員）が担当クラスの学生の連絡を行い、緊急時には本人、保護者にすぐに連絡できる体制を取っている。また、留学生に関しては出席不良、病気、問題発生時等には、母語話者の職員が現地留学センター及び保護者へ連絡、説明、経過報告等を行っている。学生の心身面で問題が見られた場合は、その都度、相談やカウンセリング等を行い、病気・事故・怪我の際には学校近隣のクリニックや総合病院及び夜間診療への付き添いや情報を提供し、英語・韓国語・中国語・ベトナム語で迅速に対応できるような体制を整えている。感染症防止のため、学校としてのガイドラインを作成し、症状がある学生については、医療機関、保健所の指導のもと監督している。</p> <p>寮については女子寮を徒歩圏内の直営寮を保有している。また、提携寮とは管理人や管理会社と連携して情報を共有し、問題発生時にはすぐに管理人及び当校のスタッフが対応できる体制を整えている。</p> <p>卒業生への対応については各種証明書の発行、ビザ更新時の情報・資料提供及び必要に応じて相談を受け付けている。</p> | | |

| 6. 在留管理と生活指導（日本語学科、総合英語学科留学生） | | 評価 |
|--|---------------------------------|----|
| 27 | 6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 5 |
| 28 | 6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 5 |
| 29 | 6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 5 |
| 30 | 6-4 常に最新の学生情報を把握しているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>日本語学科においては現地仲介と連携して、学生入国前に入国便及び住居を把握するようにしている。入学式では言語別にオリエンテーションを行い、校則、法律、出席率、ビザ更新、資格外活動、法定手続き等、詳しく説明している。また、毎日クラス担任講師を集めて朝礼・昼礼を行い、その都度必要な情報を学生に提供できるようにしている。</p> <p>両学科で学生の情報については、学生記録カードを作成して、個人情報の他、アルバイト先の情報、同居人の情報、母国の情報などを書かせ、クラス別に紙媒体及びデータベースで個人情報を管理している。</p> <p>定期的にクラス担任と面談を行い、内容を確認し、変更があった場合はその都度更新を行っている。</p> | | |

| 7. 学生の募集と受け入れ | | 評価 |
|---|---------------------------------|----|
| 31 | 7-1 学生の受け入れ方針は定められているか | 5 |
| 32 | 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか | 5 |
| 33 | 7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 |
| 34 | 7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 5 |
| 35 | 7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>総合英語学科については生徒受け入れのガイドライン（内規）を設定し、学生募集の指針としている。入学方法、出願期間等については東京都専修学校各種学校協会の決定を遵守し適切に設定している。入学案内やホームページ、学校説明会を通し教育成果は伝えられており、入学選考も上述のガイドラインに沿って行われている。</p> <p>日本語学科については韓国に現地事務所、VIETNAM と中国においては統括事務所を設置している。台湾へは職員が最低年2回現地に出張し、その他の国については信頼できる現地仲介と契約し、留学生担当（取次者）、専任講師や母国語が話せる者が立ち会ってオンライン面接を実施し、学習意欲、留学目的、経費支弁能力、人物確認を行っている。特に経費支弁能力・学習意欲の高い学生を厳選することによって、多国籍になってもお互い尊重し合いながら目標に向かって勉強できるような学校作りを行っている。</p> <p>定員については学則に沿って設備及び教員数は適切であり、クラスが増えても対応できる余裕を持たせている。また、日本語学科は学生の継続希望を定期的に調査し、入学希望者と在籍者数を調整している。</p> | | |

| 8. 財務 | | 評価 |
|--|------------------------------|----|
| 36 | 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 5 |
| 37 | 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 5 |
| 38 | 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか | 5 |
| 39 | 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>学園設置者においては、所有する預金残高・保有資産等から十分な財務基盤が確立されている。この点は中長期的にも、ほぼ安定した財務基盤にある。</p> <p>予算・収支計画については、理事会・評議委員会の中で、公開及び検討の後、各会で承認を受けており有効かつ妥当なものである。</p> <p>適正な会計処理を税理士法人と連携して行い、その後、監事による会計監査、理事会、評議委員会における監査報告を行い、承認を受けている。また、適正な予算の執行のため決算報告に加え、上半期の中間報告も実施している。よって会計監査は適正に達成されている。</p> <p>財務情報公開についても、閲覧希望者には学園窓口で公開するなど適正に対処している。</p> | | |

| 9. 法令等の遵守 | | 評価 |
|--|--------------------------------|----|
| 40 | 9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 5 |
| 41 | 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 5 |
| 42 | 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 5 |
| 43 | 9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか | 5 |
| 44 | 9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 5 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>当校は学園顧問弁護士監修の基、法令、設置基準等を遵守し、文科省、法務省、東京都、新宿区への各種報告も定期的に行っている。</p> <p>個人情報に関しては扱う職員を限定し、ネットワークにはファイアーウォールを設置し、個人情報の管理を行う PC のみならず、ウイルスソフトウェアも常に最新のものにアップデート行っている。定期的に変更を行う強固なパスワードで PC を保護し、保存データは定期的にバックアップを取って、記憶媒体に保存し、情報管理者のみ開錠できる保管庫に保管するなど外部への流出が起らないよう運用している。</p> <p>自己点検・自己評価は年 1 回に実施し、実施のたびホームページに公開している。</p> | | |

| 10. 社会貢献 | | 評価 |
|---|---------------------------------|----|
| 45 | 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 3 |
| 46 | 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 4 |
| <p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>校舎屋上に N T T ドコモの基地局を設置し、学校周辺地域の電波環境の向上に寄与している、また、校舎敷地内に自動販売機を設置し、市価より安価で飲料を販売し、周辺居住者等にも多くの利用がある。</p> <p>学生には案内が送られてきた際、校舎内掲示等によりボランティアへの参加を募っている。学校が指定したボランティア活動に参加した場合、教育効果の低減を避けるため回数に制限を設けるが、授業を出席扱いすることで学生のボランティア活動への参加を促している。</p> | | |

総括

現在、各項目においておおむね目標が達成されているが、社会貢献への対応で遅れている部分については、今後早急に検討し、改善および公表を行っていきたいと考えている。

現在問題がない部分においても時代の流れとともに変化していかなくてはならない部分もあるので、定期的に見直しを行い、さらに充実させていきたいと考える。

令和2年7月11日
学校法人湖南学園
早稲田外語専門学校
校長 井上 正

2019年度早稲田外語専門学校 自己点検・自己評価に対する学校評価委員評価

2019年度学校関係者評価委員会は、2019年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

- 1.対象期間：2019年（令和元年）4月1日～2020年（令和2年）3月31日
- 2.開催日時：2020年（令和2年）7月8日（水） 13:00～14:30
- 3.開催場所：早稲田外語専門学校（オンライン開催）

○学校関係者評価委員

- ・崔 新亮 留学エージェント ウレスジ商事株式会社 留学部
- ・諸町友哉 卒業生 株式会社臨海
- ・渋谷リエカ 卒業生 株式会社ビクセン

学校の自己点検・自己評価につき下記の判定基準により評価

<評価基準>

- 5：達成していると思われる
- 4：ほぼ達成していると思われる
- 3：どちらとも言えない
- 2：若干の改善をするべきと思われる
- 1：全面的に改善をするべきと思われる

1. 教育理念・目的について 評価

| | |
|--------------------------|-----|
| 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか | 5.0 |
| 1-2 学校の特色は何か | 4.7 |
| 1-3 学校の将来構想を抱いているか | 4.3 |
| 1-4 理念に基づく教育が行われているか | 4.7 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

世界どこの国にいても人の役に立てる「グローバル人材」の育成が当校の使命と考える。そのため語学の習得のみならず、校外学習や文化体験を通して、その国（言語圏）への理解を深め、コミュニケーションが円滑に取れる人物を養成する。マスプロ教育を廃し、少人数教育に徹し、学生一人一人に寄り添った教育を実践している。今後、よりグローバル化する世界に有能な人材を送り出すべく独自の教育プログラムの開発、実践を今後も行っていく。

〈委員のコメント〉

- ・将来的に学生数が増えた際に教室数やスタッフの数など現行のままだと不安である。
- ・日本人学生と留学生の両方が在籍しているため、異文化交流ができ、将来グローバルな人脈も作れるのではないかと思う。

2. 学校運営について 評価

| | |
|---|-----|
| 2-1 運営方針は定められているか | 4.7 |
| 2-2 事業計画は定められているか | 4.7 |
| 2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか | 4.3 |
| 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 4.3 |
| 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4.7 |
| 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 4.3 |
| 2-7 危機管理体制は整備されているか | 4.7 |
| 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう 学校教育法に基づき整備されているか | 4.3 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

毎年度当初に年間スケジュールに沿った事業計画、運営方針の策定を行っている。学校長統括の基、教務部門、事務部門の連携によりスピード感のある意思決定がなされている。各職員の処遇は就業規則に則り行われている。PC、クラウド、その他情報機器を活用して業務の効率化や情報共有、教職員間のコミュニケーションが図られている。理事会、評議委員会による客観的な学校運営の評価、指導が定期的になされている。危機管理については「危機対応マニュアル」を作成し、各教職員に周知するとともに、各部署に担当者を置き、学期ごとの会議においてマニュアルの再確認やその時々にあった更新が行われる。

施設・設備に関しては定期的（年4回）に点検を行うが、不具合が発生した場合は、定期点検を待たず、

すみやかに修繕・修復を行い、安全確保に努めている。

3. 教職員について

評価

| | |
|--------------------------------|-----|
| 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか | 4.7 |
| 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 4.7 |
| 3-3 教職員評価を行っているか | 4.3 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校長、事務長、学科担当課長を中心に教育理念、目的を共有し、半期に一度、校長、専任教職員、非常勤教員が出席する全体会議を実施。その際、校長から当校の教育理念の確認と学期の目標を発表している。

全体会議の後、クラスごとに講師が集まり、チームティーチングで授業を運営する上で共有すべきクラスの目標、教材の進め方、進度等、担当の専任講師を中心として共有する。

教育の質の向上として、プロジェクター、PCなど情報機器類やソフトウェアを導入し、学生の理解度アップに努めている。

非常勤教員に対しては当校への勤務開始時および定期的に専任教員が全授業の見学を行い、質の維持に努めている。新人教育については最低でも3か月、長くて1年間、専任講師が教案のチェックと授業見学、フィードバックを行っている。また、期末に学生アンケートと担当専任講師からの聞き取り調査を実施し、時間給を見直す際反映している。

常勤の教職員に関しては校長が設置者の定めた評価基準に沿って、各上長からの報告を基に職員の評価を行っている。

〈委員のコメント〉

- ・専任教員授業見学の頻度をもっと上げれば、さらに授業の質の向上につながると思う。

4. 教育活動について 評価

| | | |
|-----|------------------------------------|-----|
| 4-1 | カリキュラムは体系的に編成させているか | 5.0 |
| 4-2 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 5.0 |
| 4-3 | 目標に向け授業を行うことができる要件資質を備えた教員を確保しているか | 4.7 |
| 4-4 | 成績評価は適切に行われているか | 4.0 |
| 4-5 | 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか | 4.7 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

学習到達レベル、レベルチェックテストの結果によって細かくクラスが分けられ、初級から上級まで体系的に学べるようクラス編成を行っている。専任講師が各レベルのカリキュラムの作成、監督、非常勤講師への指導を行っている。各レベルで各種検定試験の目標レベルを設定し、学生及び講師が明確な目標に向かい授業が運営できるような体制になっている。当校は前期、後期に分かれ、各期に2回定期試験を実施し、成績の結果を見てクラスの再編成を行っている。成績評価は四技能の他に、授業態度や提出物、出席率などを見て総合的に判断し、クラス担当教員が成績表を記入することになっている。また期の最後に学生と講師に自己評価、授業評価、講師評価、教材、カリキュラムの評価をアンケートによって調査し、その結果を次の期のコースデザインや講師への指導に反映させている。

また、留学生に対しては受験者が多い日本留学試験と日本語能力試験の対策として、学校全体で模擬試験を実施し、各クラスの授業でも過去問題を使用するなど実践的に問題が解けるように指導をしている。

〈委員のコメント〉

- ・学生の成績評価についてもっと細かく公開してもよいのではないかと思う。

5. 学生支援について 評価

| | | |
|-----|---|-----|
| 5-1 | 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 4.7 |
| 5-2 | 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 4.7 |
| 5-3 | 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 4.3 |
| 5-4 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 4.3 |
| 5-5 | 保護者と適切に連携しているか | 4.7 |
| 5-6 | 卒業生への支援体制はあるか | 4.7 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

総合英語学科は就職希望者に対し、「キャリアデザイン」という授業の中で就職の初歩から学び、各ホームルームクラス担当が所属クラス生徒の状況把握、就職指導担当教員と連携を取りながら個別指導を行っている。日本語学科は年に数回、校内で進学説明会、就職説明会を開催している。学生に対するサポートは各クラスの担任及び、副担任を専任講師が担い、留学生担当者と連携し、学生個々の生活状況、

進学、就職、生活面での相談の機会を設け、情報を共有し把握している。

両学科とも目安として半年に2回程度、個別面談を実施し、個人の進路、生活面のサポートを行っているが、専任講師（職員）が担当クラスの学生の連絡を行い、緊急時には本人、保護者にすぐに連絡できる体制を取っている。また、留学生に関しては出席不良、病気、問題発生時等には、母語話者の職員が現地留学センター及び保護者へ連絡、説明、経過報告等を行っている。学生の心身面で問題が見られた場合は、その都度、相談やカウンセリング等を行い、病気・事故・怪我の際には学校近隣のクリニックや総合病院及び夜間診療への付き添いや情報を提供し、英語・韓国語・中国語・ベトナム語で迅速に対応できるよう体制を整えている。感染症防止のため、学校としてのガイドラインを作成し、症状がある学生については、医療機関、保健所の指導のもと監督している。

寮については女子寮を徒歩圏内の直営寮を保有している。また、提携寮とは管理人や管理会社と連携して情報を共有し、問題発生時にはすぐに管理人及び当校のスタッフが対応できる体制を整えている。

卒業生への対応については各種証明書の発行、ビザ更新時の情報・資料提供及び必要に応じて相談を受け付けている。

<委員のコメント>

- ・就職指導に関しては外部講師をもっと積極的に招聘したらよいのではないかと思う。
- ・生徒の相談ごとには真剣に耳を傾けて相談に乗ってくれるのはとても良い点である。

6. 在留管理と生活指導（日本語学科、総合英語学科留学生）について 評価

| | |
|---------------------------------|-----|
| 6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 4.7 |
| 6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 5.0 |
| 6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 5.0 |
| 6-4 常に最新の学生情報を把握しているか | 4.7 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

日本語学科においては現地仲介と連携して、学生入国前に入国便及び住居を把握するようにしている。入学式では言語別にオリエンテーションを行い、校則、法律、出席率、ビザ更新、資格外活動、法定手続き等、詳しく説明している。また、毎日クラス担任講師を集めて朝礼・昼礼を行い、その都度必要な情報を学生に提供できるようにしている。

両学科で学生の情報については、学生記録カードを作成して、個人情報その他、アルバイト先の情報、同居人の情報、母国の情報などを書かせ、クラス別に紙媒体及びデータベースで個人情報を管理している。定期的にクラス担任と面談を行い、内容を確認し、変更があった場合はその都度更新を行っている。

<委員のコメント>

- ・出入国手続きなどしっかりサポートしている。海外へのオンラインサポートも行っている。
- ・出欠をはじめ、留学生の管理はしっかり行われている。

| 7. <u>学生の募集と受け入れについて</u> | 評価 |
|---------------------------------|-----|
| 7-1 学生の受け入れ方針は定められているか | 5.0 |
| 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか | 4.3 |
| 7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4.7 |
| 7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 4.7 |
| 7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 5.0 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

総合英語学科については生徒受け入れのガイドライン(内規)を設定し、学生募集の指針としている。入学方法、出願期間等については東京都専修学校各種学校協会の決定を遵守し適切に設定している。入学案内やホームページ、学校説明会を通し教育成果は伝えられており、入学選考も上述のガイドラインに沿って行われている。

日本語学科については韓国に現地事務所、VIETNAM と中国においては統括事務所を設置している。台湾へは職員が最低年2回現地に出張し、その他の国については信頼できる現地仲介と契約し、留学生担当(取次者)、専任講師や母国語が話せる者が立ち会ってオンライン面接を実施し、学習意欲、留学目的、経費支弁能力、人物確認を行っている。特に経費支弁能力・学習意欲の高い学生を厳選することによって、多国籍になってもお互い尊重し合いながら目標に向かって勉強できるような学校作りを行っている。定員については学則に沿って設備及び教員数は適切であり、クラスが増えても対応できる余裕を持たせている。また、日本語学科は学生の継続希望を定期的に調査し、入学希望者と在籍者数を調整している。

〈委員のコメント〉

・選考の段階で精査し、本当にその分野が学びたい学生を入学させれば中途退学者の抑制にもつながると思う。

| 8. 財務について | 評価 |
|------------------------------|-----|
| 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 5.0 |
| 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 5.0 |
| 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか | 5.0 |
| 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか | 5.0 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

学園設置者においては、所有する預金残高・保有資産等から十分な財務基盤が確立されている。この点では中長期的にも、ほぼ安定した財務基盤にある。

予算・収支計画については、理事会・評議委員会の場で、公開及び検討の後、各会で承認を受けており有効かつ妥当なものである。

適正な会計処理を税理士法人と連携して行い、その後、監事による会計監査、理事会、評議委員会における監査報告を行い、承認を受けている。また、適正な予算の執行のため決算報告に加え、上半期の中間報告も実施している。よって会計監査は適正に達成されている。

財務情報公開についても、閲覧希望者には学園窓口で公開するなど適正に対処している。

| 9. 法令等の遵守について | 評価 |
|--------------------------------|-----|
| 9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 5.0 |
| 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4.7 |
| 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 5.0 |
| 9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか | 5.0 |
| 9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 5.0 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当校は学園顧問弁護士監修の基、法令、設置基準等を遵守し、文科省、法務省、東京都、新宿区への各種報告も定期的に行っている。

個人情報に関しては扱う職員を限定し、ネットワークにはファイアーウォールを設置し、個人情報の管理を行う PC のみならず、ウイルスソフトウェアも常に最新のものにアップデート行っている。定期的に変更を行う強固なパスワードで PC を保護し、保存データは定期的にバックアップを取って、記憶媒体に保存し、情報管理者のみ開錠できる保管庫に保管するなど外部への流出が起らないよう運用している。

自己点検・自己評価は年 1 回に実施し、実施のたびホームページに公開している。

10. 社会貢献について

評価

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

4.7

10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

5.0

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校舎屋上にN T T ドコモの基地局を設置し、学校周辺地域の電波環境の向上に寄与している、また、校舎敷地内に自動販売機を設置し、市価より安価で飲料を販売し、周辺居住者等にも多くの利用がある。

学生には案内が送られてきた際、校舎内掲示等によりボランティアへの参加を募っている。学校が指定したボランティア活動に参加した場合、教育効果の低減を避けるため回数に制限を設けるが、授業を出席扱いすることで学生のボランティア活動への参加を促している。